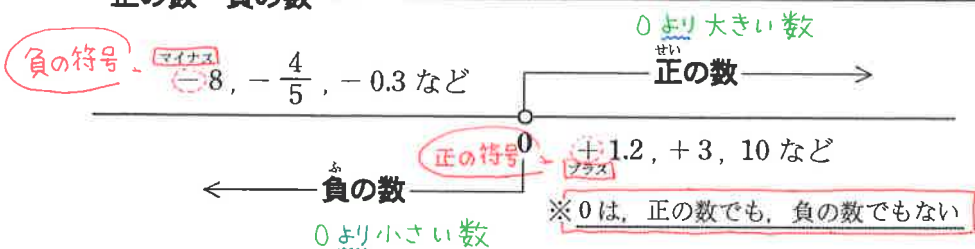


正の数・負の数



- ① 次の数から、正の数と負の数を選びなさい。

3.5, -6, 110, +1.8, -2.5,

$-\frac{5}{6}$, $+\frac{3}{5}$, 0, -7

正の数でも負の数でもない。

正の数 [3.5, 110, +1.8, $+\frac{3}{5}$]

負の数 [-6, -2.5, $-\frac{5}{6}$, -7]

- ② 次の数を+(プラス), -(マイナス)を用いて表しなさい。

(1) 0より3大きい数 [+3]

(2) 0より0.2大きい数 [+0.2]

(3) 0より $1\frac{1}{4}$ 小さい数 [$-1\frac{1}{4}$]

(4) 0より0.7小さい数 [-0.7]

自然数

正の整数を自然数という。

整数(0をふくむ)

..., -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, ...

負の整数

正の整数(自然数)

- ③ 次の数について答えなさい。

小数, 分数
× 10の数の数

+3, 1.5, $2\frac{1}{2}$, $\frac{1}{5}$, -15, 4, 0, -3.8, +68

(1) 整数をすべて答えなさい。 [+3, -15, 4, 0, +68]

(2) 正の整数をすべて答えなさい。 [+3, 4, +68]

(3) 自然数をすべて答えなさい。 [+3, 4, +68]

- ④ 次のことがらを、正の数、負の数で表しなさい。

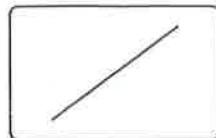
(1) 0℃より3.2℃低い温度 [-3.2℃]

(2) 収入を正の数で表すとき、ア. 70円の支出 イ. 900円の収入 [ア -70円] [イ +900円]

(3) A地点から南の方向を正とすると、Aから北へ200mの地点 [-200m]



反対の性質をもつ量は、
正の数・負の数を使って
表すことができる。



1

+

-



次の各数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

(1) 0より6大きい数

$$+6$$

(2) 0より2小さい数

$$-2$$

(3) 0より0.3小さい数

$$-0.3$$

(4) 0より0.1大きい数

$$+0.1$$

(5) 0より $\frac{3}{4}$ 大きい数

$$+\frac{3}{4}$$

(6) 0より $1\frac{2}{5}$ 小さい数

$$-1\frac{2}{5}$$

2



次のことから、正負の符号のついた数を使って表しなさい。

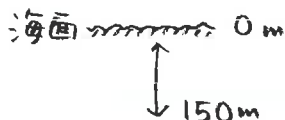
(1) 0℃より4℃高い温度

$$+4^{\circ}\text{C}$$

(2) 0℃より3.5℃低い温度

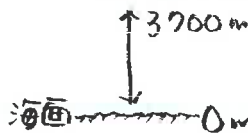
$$-3.5^{\circ}\text{C}$$

(3) 海面0mからの深さが150mの地点



$$-150\text{m}$$

(4) 海面0mからの高さが3700mの地点



$$+3700\text{m}$$

3



次の数の中で、(1)~(3)にあてはまる数をすべて書きなさい。

+3, 6.3, 0, $-\frac{5}{4}$, -98, $+2\frac{1}{5}$, -9, 1030

(1) 整数

小数、分数以外

$$+3, 0, -98, -9, 1030$$

(2) 自然数

正の整数

$$+3, 1030$$

(3) 負の整数

$$-98, -9$$

* 0は正の数でも負の数でもない。

4



次の各問いに答えなさい。

① 体重が2.5kg増えることを+2.5kgで表すとき、体重が4.5kg減るのはどう表しますか。

$$-4.5\text{kg}$$

② 「+5000円の支出」これを負の数を使って表しなさい。

$$-5000\text{円の入}$$

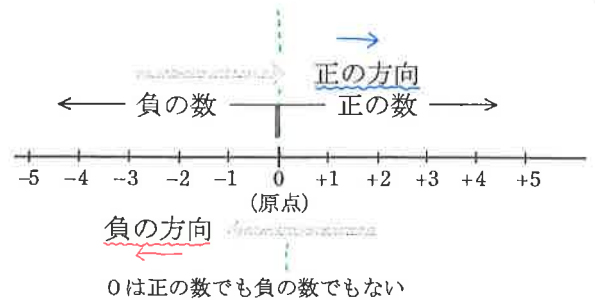


数直線で表す正負の数

数直線上で0が対応している点を^{げんてん}原点という。

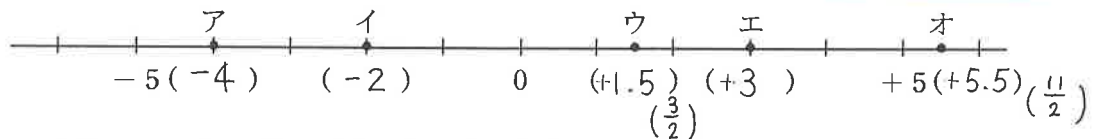
数直線の右の方向を正の方向、左の方向を負の方向という。

0 (原点) より右側の数が正の数、左側の数が負の数である。



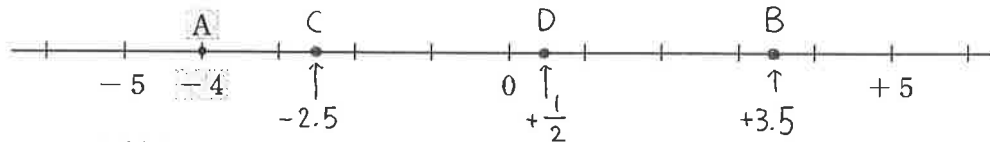
- 1 次の数直線上で、点ア～オに対応する数を答えなさい。

正の符号(+)は
つけなくてもよい。



- 2 下の数直線上に、次の数に対応する点B～Dをかき入れなさい。

(例) 点A: -4 , 点B: $+3.5$, 点C: -2.5 , 点D: $+\frac{1}{2}$



絶対値

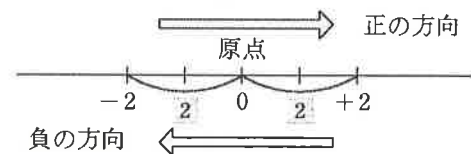
数直線上で、^{げんてん}原点からの距離を表す値を絶対値^{ぜったいち}という。

(符号をとった数)

※0の絶対値は0である。

(例) $+2$ の絶対値 $\rightarrow 2$

-2 の絶対値 $\rightarrow 2$



- 3 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の数の絶対値をかきなさい。

① $\frac{2}{9}$ [$\frac{2}{9}$] ② -15 [15] ③ $+348$ [348]

- (2) 次の数と絶対値が同じで、符号がちがう数をかきなさい。

① -7.3 [$+7.3$] ② $+\frac{7}{2}$ [$-\frac{7}{2}$] ③ $+1$ [-1]

- (3) 絶対値が3になる数をかきなさい。

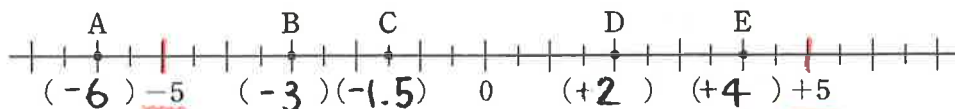
正の符号は
つけなくてもよい。

[$+3, -3$]

1



次の数直線上で、点 A, B, C, D, E に対応する数を答えなさい。



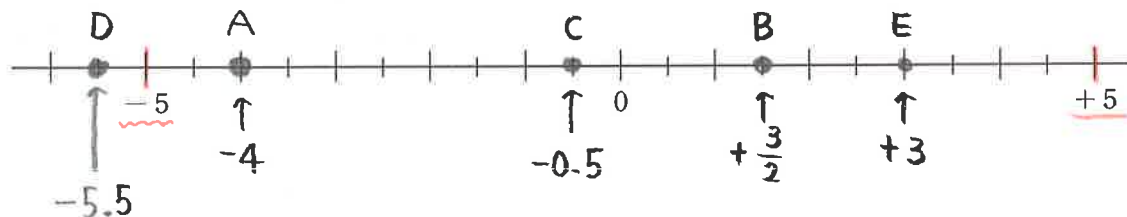
正の符号は
つけなくてもよい。

2



次の数直線上に点 A, B, C, D, E に対応する点をかき入れなさい。

点 A: -4 , 点 B: $+\frac{3}{2}$, 点 C: -0.5 , 点 D: -5.5 , 点 E: $+3$



3



次の各問いに答えなさい。

① 次の各数の絶対値を書きなさい。

(1) -5 5 (2) $+\frac{4}{5}$ $\frac{4}{5}$ (3) $+2.7$ 2.7 (4) 0 0

② 次の各数と絶対値が同じで、符号がちがう数を書きなさい。

(1) $+2$ -2 (2) $-\frac{2}{3}$ $+\frac{2}{3}$ (3) $+8.1$ -8.1 (4) -15 $+15$

③ 絶対値が5になる数をすべて書きなさい。

$+5, -5$

正の符号(+)
つけなくてもよい。

0の絶対値は0

数の大小と絶対値

数の大小関係を表す記号 $>$, $<$ を **不等号** という。

-5 が 3 より小さい $-5 < 3$

-3 が -5 より大きい $-3 > -5$

正の数は、絶対値が大きいほど大きい。

(例) $5 < 9$ (小) $\leftarrow$ $\rightarrow$ (大)

負の数は、絶対値が大きいほど小さい。

(例) $-9 < -5$ $\leftarrow$ $\rightarrow$ (大)

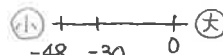
数直線で考えると分かりやすい。

① 次の2つの数の大小を、不等号($<$, $>$)を使って表しなさい。

(1) -5 $>$ -9

(2) 25 $>$ 14

(3) -30 $>$ -48



不等号だけじゃなく
数も書く。

② 次の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-7, +4$

$[-7 < +4]$

(2) $-8, -3$

$[-8 < -3]$

(3) $9, -10$

$[9 > -10]$

(4) $0, -2, +2$

$[-2 < 0 < +2]$

$0 < +2 > -2$ とか $0 > -2 \leq +2$ は×

小さい順(または大きい順)に
ならべて書く。

③ 次の数を、大きい方から順にならべなさい。

$-3, 4.5, -\frac{2}{3}, 0, \frac{1}{3}, 1$

④ 負の数 $\rightarrow 0 \rightarrow$ 正の数

$[4.5, 1, \frac{1}{3}, 0, -\frac{2}{3}, -3]$

④ 次の(1)～(6)にあてはまる数を、下の数から選びなさい。

$-\frac{9}{2}, -3, \frac{1}{10}, -\frac{5}{8}, 3, 5, 0.2, -8$

(1) 絶対値がもっとも小さい数

0にもっとも近い数

$[\frac{1}{10}]$

(2) -4 より小さい数

$[-\frac{9}{2}, -8]$

(3) 負の数でもっとも大きい数

$[-\frac{5}{8}]$

(4) 絶対値が3である数

$[-3, 3]$

(5) 正の数で2より小さい数

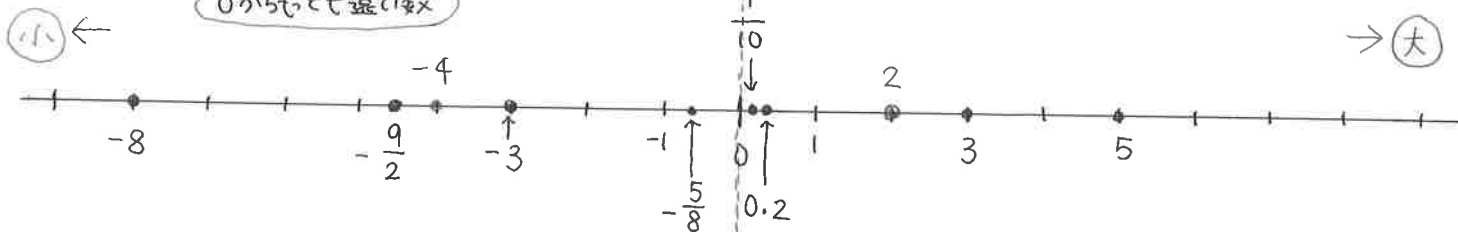
$[\frac{1}{10}, 0.2]$

(6) 絶対値がもっとも大きい数

負の数 $\leftarrow$ $\rightarrow$ 正の数

$[-8]$

0からもっとも遠い数



1

次の各問いに答えなさい。

① 次の2つの数字の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-35, -100$

$$-35 > -100$$

(2) $+5, +1$

$$+5 > +1$$

不等号だけでなく数も書く。

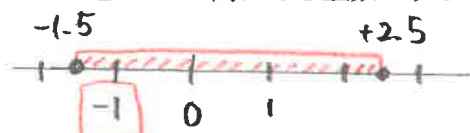
② 次の各数を小さい方から順に並べなさい。

(負) $\rightarrow 0 \rightarrow$ (正)

$+1, -2, 0, -\frac{3}{2}, +2$

$-2, -\frac{3}{2}, 0, +1, +2$

③ -1.5 と $+2.5$ の間にある整数のうちで、もっとも小さい整数を求めなさい。



-1

2

次の2数のうち、大きい数を答えなさい。また、絶対値が大きい数はどちらですか。

(1) 6と2

大きい数: 6

絶対値が大きい数: 6

(2) -3 と4

大きい数: 4

絶対値が大きい数: 4

(3) -5 と1

大きい数: 1

絶対値が大きい数: -5

(4) -7 と -2

大きい数: -2

絶対値が大きい数: -7

3

次の各組の数の大小を不等号を用いて表しなさい。答は問題の間に不等号を書き入れるのではなく、必ず問題の下の空欄に書くこと。

(1) 5, 3

$$5 > 3$$

(2) $-4, -2$

$$-4 < -2$$

(3) $-7, 7$

$$-7 < 7$$

(4) $-\frac{5}{4}, -\frac{9}{7}$

$$\downarrow \quad \downarrow$$

$$-\frac{35}{28} \quad -\frac{36}{28}$$

$$-\frac{5}{4} > -\frac{9}{7}$$

問題と同じ数で答える。